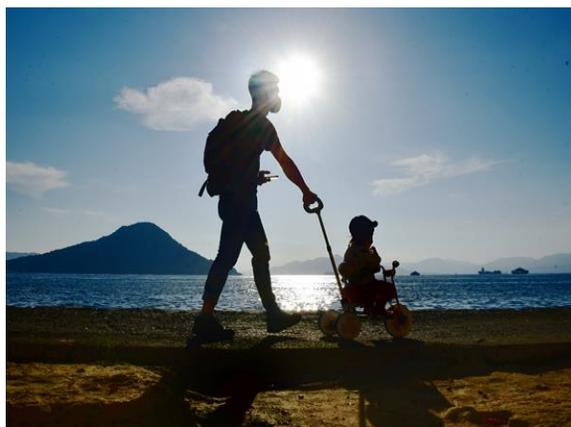




# 暑い夏本番！ 夏を楽しもう

本格的な暑い夏が到来しました。海水浴やプール等、夏でない体験できないことがいろいろあります。今年の夏は一度限り。コロナ感染に気を付けて、悔いのない夏を体験しましょう。



## Aug.- events

8月からの事業案内

### ■家族で地域で考えよう

### 暮らしから考える防災講座

いざという時のための備えや、基礎知識を学び、防災について考えます。

回	開催日	内容 (テーマ)
1	9月3日(土)	連絡手段や避難経路を考える
2	9月10日(土)	日頃の備えやマイタイムラインを考えよう
3	9月17日(土)	防災備蓄を考え体験しよう

対象◆どなたでも。先着20組 時間◆いずれも10:00~11:30 会場◆中央公民館 講師◆ひろしま女性防災会管理栄養士・防災士 三宅由紀子さん 参加費◆【9月17日分】大人1人500円(家族で試食をご希望される場合は500円×人数分。当日集めます) 持参物◆【共通】マスク、筆記用具、【9月3日分】ご自身のスマートフォン又は携帯電話(災害伝言ダイヤル体験希望者) 【9月17日分】エプロン、三角巾(あれば)、ふきん、手拭き用タオル、保冷バック、保冷剤、※アレルギーのある方は申込時にお知らせください。申込◆8月20日(土)までに電話か来館で



### ■広島市短詩型文芸大会 「短詩型文芸作品」募集

日頃の創作活動の成果発表の場として、誰もが参加できる大会として親しまれてきた「短詩型文芸大会」。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開会式と記念講演会のみ現地開催し、各部門の選考等については誌上開催とします。皆様の作品の応募をお待ちしています。

日時◆11月12日(土)13:00~ 会場◆中央公民館 内容◆開会式、記念講演会 賞・発表◆各部門で広島市長賞、広島市教育長賞、中央公民館長賞。優秀作品集(令和4年12月発行予定)で発表 主催◆広島市短詩型文芸大会実行委員会、中央公民館 後援◆中国新聞社

記念講演会 演題◆木下夕爾、原民喜の詩と句を読む 講師◆安田女子大学文学部日本文学科教授・外村彰さん 申込◆不要(当日先着50人まで)

作品募集 応募資格◆広島広域都市圏(広島県:広島市(連携中核都市)、呉市、竹原市、三原市、三次市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸大田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、山口県:岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町、島根県:浜田市、美郷町、邑南町)に在住されている人 募集作品◆俳句、短歌、詩、川柳の未発表作品 応募方法◆所定の応募用紙などに、必要事項(部門、住所、名前(ふりがな)、年齢、電話番号)と作品を楷書で記入の上、中央公民館「広島市短詩型文芸大会」係へ郵送で(ファクス不可)。締切◆9月30日(金)(当日消印有効)

#### 【俳句の部】

題材自由、1人2句以内(季節は問いません)。所定の応募用紙かはがきに楷書で記入 選者◆木村里風子(楓)、飯野幸雄(夕風)、工藤義夫(早苗)、鈴木厚子(雉)、山口美智(創生)

#### 【短歌の部】

題材自由、1人1首。所定の応募用紙かはがきに楷書で記入 選者◆山本光珠(真樹社)、岩本幸久(白炎短歌会)、西楽紀恵(明日葉短歌会)

#### 【詩の部】

題材自由、1人1編百100行以内のものを、2編以内。400字詰めA4判原稿用紙に楷書で記入 選者◆伊達悦子、豊田和司、目次ゆきこ(広島県詩人協会)

#### 【川柳の部】

各題1人2句。所定の応募用紙か400字詰めA4判原稿用紙に楷書で記入。題・選者◆「広い」森崎八重子(広島川柳会)、「腕」福田淳子(小倉番傘)、「学ぶ」浅原志ん洋(やまなみ川柳クラブ)、「鏡」温井水鳥(きらく川柳会)、「祭り」弘兼秀子(大竹川柳会)、「舞台」吉川美佐子(広島川柳会)(選者敬称略) お願い◆①応募作品集は発行しません。②入選作品は主催者が著作権(優秀作品集作成時)を有することになります。③応募資格などこの募集案内に反するものは、応募作品から除きます。除かれた作品は、実行委員会により適切に処分いたしますので、ご了承ください。

※ 募集要領や俳句・短歌・川柳の応募用紙は、中央公民館のHPからダウンロードできます。  
www.cf.city.hiroshima.jp/chuo-k/

## 街歩きヒストリア

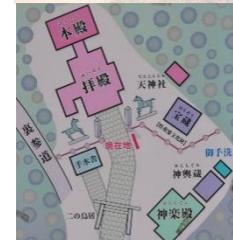


広島城にあった「三の丸稲荷神社」の宝蔵。現在は多家神社(安芸郡府中町宮の町)の境内にある。

### 広島城三の丸稲荷神社宝蔵

基町

広島城の三の丸西南隅には、明治時代初期まで「三の丸稲荷神社」という神社がありました。現在の県立体育館(グリーンアリーナ)付近です。広島城内の建築物は、明治維新後に取り壊されたり原爆で破壊されたりで、今は殆ど残っていません。しかし、府中町の多家(たけ)神社には、この三の丸稲荷神社の宝蔵が現存しています。



上・多家神社の拝殿。右側に校倉造りの宝蔵がある。左・多家神社の境内案内図

中央公民館エリア(白島、基町、職町)の街の魅力や歴史とともにご紹介するコラム「街歩きヒストリア」を公募で集まった制作スタッフが集まっています。編集してくださる方を随時募集しています。

多家神社の案内板には、明治7(1874)年神社創建に際し、三の丸稲荷神社を移築したと記されています。社殿は移築後に焼失しましたが、校倉造りの宝蔵は焼失を免れたのです。広島城にあった神社の宝蔵が、府中町で生き残っている一。何だか奇跡のように思われます。(文・写真 小川 敏明さん)



【ご案内】中央公民館4階ホールにて「街歩きヒストリア」の一部を展示しています。また、ホームページにも掲載しています。

## 新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください！

咳や発熱などの体調不良の方は、施設利用や活動参加を控えてください。

入館時は、マスクの着用と手指消毒をお願いします。ロビー・図書室について、3密回避のため、席を減らしています。長時間のご利用、マスクを外してのご利用、お食事はご遠慮ください。引き続きご理解とご協力を、よろしくお願い致します。

